



『しまの宝』

第15号 R3.11.8

文責：校長 日高 洋子

修学旅行に 行ってきました！

10月27日～29日の3日間で長崎市内、佐世保市への修学旅行に行ってきました。心配していた新型コロナウイルス感染症が全国的に落ち着きを見せ、安心とはいかないまでも、修学旅行を楽しむことができました。緊急事態宣言や営業緩和で、どこに行っても大勢の人でごった返してましたが学校から、消毒液を各自持参し、各観光地ではシュッシュと手指衝動をおこなって、感染防止を心がけました。

↓この日の食事は外のテーブルで！



↓平和公園で真剣に平和について考えたり、グラバー園でハートの石を見つけて、写真をとったり、7人が楽しい修学旅行を満喫しました。中学生がリーダーシップをとり、「自分たちで創る修学旅行」を目指して、3日間過ごしました。



3日間の中で、7人それぞれの成長が見られて、引率4名は感動の連続でした。



路面電車に乗る途中で出島を見つけて、急遽出島の学習が始まったり「久賀に行ったことあるよ！」という観光客とお話したり、予想外のこともたくさんありました。



この旅行で、長崎の小中学生が当たり前のように原爆をはじめとする戦争について学んだり、平和学習をしたりするのに対して、本校の児童生徒は、県外から来ているためこれまで深く学習していません。ですから、あらためて「戦争によってたくさんの人たちが犠牲になったんだ」という事実を突きつけられ、尻込みし、目を背けたくなるような気持ちを味わいました。しかし「二度と戦争をしてはいけない」という気持ちを強く思えた体験になりました。そんな子ども達を見て、「百聞は一見に如かず」という諺を思い出しました。

ハロウィーンを 楽しみました



10月末の英語の時間に外国のお祭りのひとつでハロウィーン祭りを子ども達が体験しました。ALTのニコラス先生がいろいろなグッズを持ってきて、子ども達にお祭りの意味などを教えてくれました。子ども達は「Trick or Treat(トリックかトリートか)」と言いながら、家々を回ります。「ごちそうをくれないと、いたずらするぞ～」という意味のようです。おばけなどの怖い仮装をして、お菓子をもらっていきます。英語の授業なので、先生方も英語で質問して、答えられたらお菓子をあげます。事前に英語のやりとりを練習して、先生方一人ひとりに回って、袋いっぱいのお菓子を手に、喜んでいました。楽しい、時間でした。



芋掘りですが……

今年は、11月の芋掘りを楽しみに、6月にサツマイモの苗さしを行いました。学校前の野原さんご夫婦にもご協力いただき、大きなサツマイモをたくさん……と思っていました。しかし、今年の夏は前半雨が降らず、8月末から9月中旬まで逆に雨が続き、暑かったり、寒かったりと気温の変化もあって、虫食いだらけのイモになってしまいました。苗さしからお世話いただきました、小島さんも、「こんな状態のイモは初めてよ！」と驚かれていました。見た目も、粒が小さく、畑を掘ると、大きなサツマイモがゴロゴロ、と想像していた子ども達は、「????」驚いていました。なかなか、見つからないサツマイモを、スコップや鍬を使って土の中から掘り起こしても、腐ってしまっていたり、見た目は大丈夫でも割ってみると、虫食いでポロポロ崩れたりしていました。

↓中を割ってみると、腐ってしまっているイモ
↓食べられそうなイモはこれだけでした↓



たくさん収穫できるかもしれないと期待を込めて、コンテナ8個を準備して収穫に臨みましたが、コンテナ1個の底に少しだけとれただけでした。子ども達も残念がっていましたが、それでも子ども達は「100本以上、苗を植えても少ししか収穫できないこともある、と思うと農家さんの大変さが実感できた」「植えれば必ず収穫できる、とは限らない、自然を相手にするって大変」「来年、また頑張ろう」などと、前向きな発言をしていました。今回のイモ体験は貴重な経験でした。簡単にはサツマイモは収穫できなかった、という経験はお店に並ぶイモを見る目を変えてくれることでしょう。大変勉強になった【イモの収穫体験】でした。ただ、学習発表会時に、ご来場の皆様にお配りできたらと計画していましたが、できなくなってしまいました。申し訳ありません。来年こそは豊作を期待して、みんなで頑張ります。



子ども達の一生懸命な姿、イモを掘り当てたときの満面の笑顔に職員一同、救われました！